



奥大山江府学園通信

第7号

令和3年9月

江府町義務教育学校設置準備委員会事務局（江府町教育委員会事務局内）

開校に向けて

鳥取県西部初の義務教育学校「奥大山江府学園」も、開校まであと半年となりました。

昨年度は、地域や保護者、学校の代表の方で構成される「江府町義務教育学校設置準備委員会」において、熱心に協議いただき、以下の内容が決定しました。

- ①名称 「奥大山江府学園」
- ②施設の型 施設分離型【「ブナの森校舎」(現江府小学校)と「日野川校舎」(現江府中学校)の2施設を利用】
- ③校訓 しなやかな心と体 自立・敬愛・剛健・創造
- ④校章



【デザインの説明】
江府町のシンボルの木、ブナの葉と大山を図案化。希望の象徴虹でもあり清らかな川の流れてもある帯を重ね合わせた。周囲に5人の児童生徒が手をつなぎ、奥大山江府学園の児童生徒が協力し合い、地域の中で育まれ希望に向かって成長し、いつの日か自分の花を咲かせてほしいという思いを込めた。

- ⑤校歌
現在の江府中学校の校歌の歌詞の一部を変更(江府中→江府学園)して新しい学校の校歌とする。
- ⑥ブロック 5・4制
 - 施設分離型の特徴を生かし、節目を付け上級学校に向かう姿勢を培います。6年生は1年早く受験等に向かう上級生に触れることで、精神的発達を促され、キャリア意識等を持つことができます。
 - 教科の専門性を持った教師による指導を行う教科担任制を推進します。

校名や校舎名、校章は公募しましたが、町外（なかには県外も）を含め、多くの方が応募してくださり、新しい学校への期待を感じました。

現在は、小学校と中学校の先生方が協力しながら来年度の教育の計画を立てているところです。4月の開校が夢と希望にあふれるものになるよう、準備を進めていきます。

制服決定!

奥大山江府学園の制服については、保護者の方と学校の先生で構成される「制服検討委員会」で、検討が進められてきましたが、9月の委員会で正式に制服が決定しました。

検討委員会で2案まで絞り込み、投票によってどちらにするかを決定するという方法で選定を進められました。投票の結果は以下のとおりです。決定した制服は町報でも紹介される予定です。



	A案 (赤リボン)	B案 (青リボン)
園児・児童・生徒	25票	111票
保護者・職員	29票	93票
町民	シール25枚	シール63枚
	0票	1票
合計	54票	205票

制服は、女子もスラックスを選択できます。また、ボタンは校章の入ったものを使用することになりました。

令和4年度は、6・7年生が着用することになります。



PTA 組織整備も進んでいます

6月15日に江府小・江府中の合同臨時PTA総会が開催され、1つの組織となる新体制について承認されました。現在は、新役員や事業計画などについて、町PTA連絡協議会を中心に準備を進められています。